

SKホールディングス 御中

# SKトレーディング様向け産業廃棄物管理基幹システム 進め方の検討資料

2023年8月23日

株式会社SRA東北



1. これまでの状況について
  - 1－1. プロジェクトの目的と状況について
  - 1－2. 機能構成と調査ターゲットについて(「現行業務の棚卸」工程後)
  - 1－3. F-RevoCRMで作成している範囲 (参考)
  - 1－4. 新システムの開発スコープについて
  - 1－5. 新システムの開発優先度について
2. 理想像について
  - 2－1. SK様作成理想像について
  - 2－2. 理想の機能構成イメージ (案)
3. 検討事項
  - 3－1. 検討課題事項について
    - 3－1－1. 新システムの構築方法の選定について
    - 3－1－2. ノーコードツールのご紹介
    - 3－1－3. システム構築方法およびサーバー構成のご提案
    - 3－1－4. 画面のイメージについて
  - 3－2. 検討事項について (ジェネシスエコについて)
4. 今後の流れについて
  - 4－1. 今後のスケジュール案について
5. 回収調整の新業務フロー案 (参考)
  - 5－1. 回収調整の現行業務 (参考)
  - 5－2. 回収調整の新業務フロー案 (過渡期) (参考)
  - 5－3. 回収調整の新業務フロー案 (理想像) (参考)

## 1. これまでの状況について

# 1 – 1 . プロジェクトの目的と状況について

## <目的について>

今回のプロジェクトの目的は、以下のように認識しております。

- **営業担当者の現行業務をシステム化することで、今後、管理店舗数が増加しても営業スタッフで運用が回るような仕組みを導入する**
- **システム統一化によるシステム間の情報連携による業務の効率化か正確性の向上とアプリケーション保守性の向上**
- **業務プロセスのシステム化による、発注ミスなどの人的なミスの削減**

## <現在の状況について>

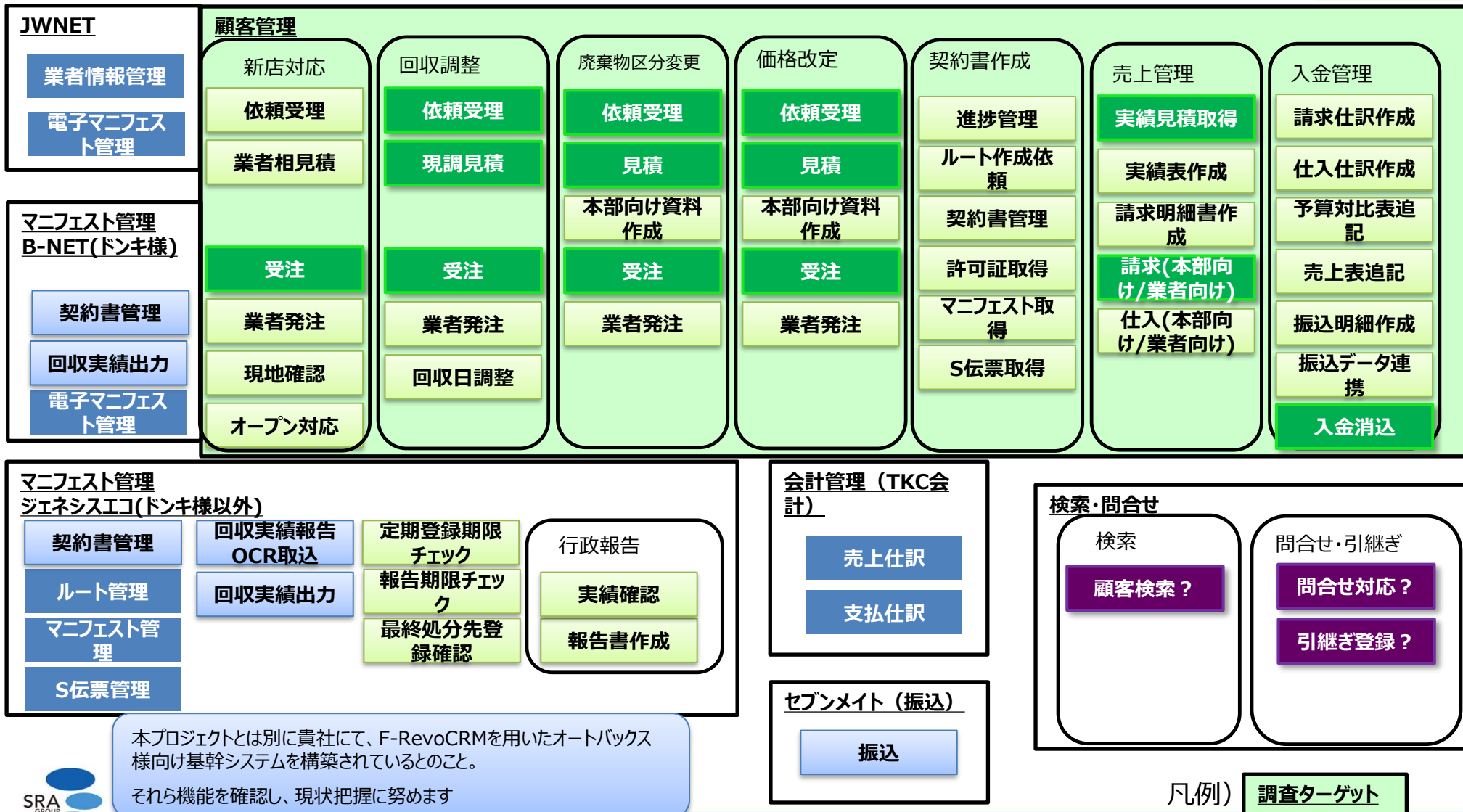
要件定義および基本設計手順のファーストステップとして「現行業務の棚卸」について実施しました。

また貴社にて、「F-RevoCRMを用いたオートバックス様向け基幹システム」を構築されているとのことで、それら機能を確認し、現状把握を行いました。

# 1 - 2. 機能構成と調査ターゲットについて(「現行業務の棚卸」工程後)

7/19時点での機能構成と調査ターゲットになります。

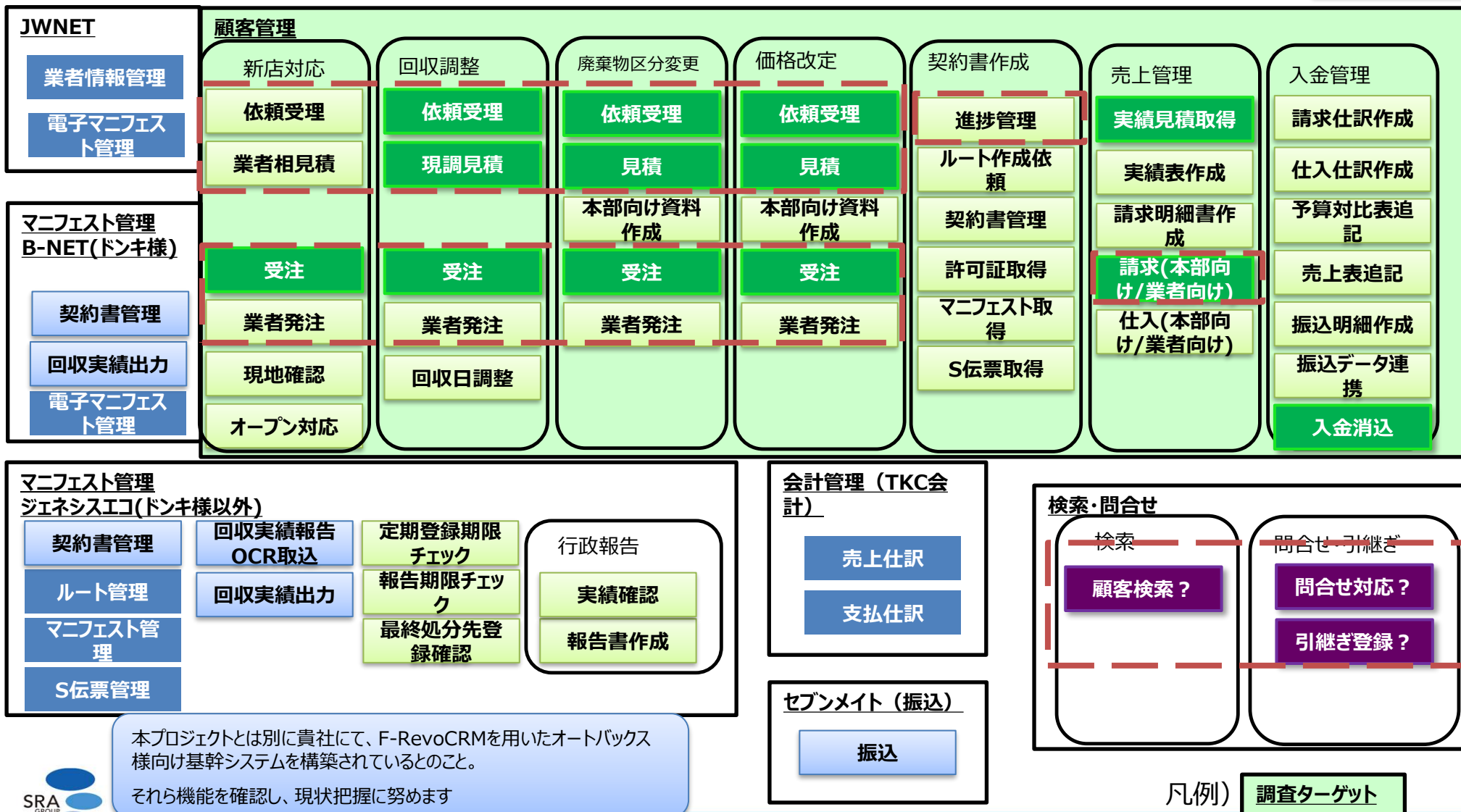
一斉案内



# 1 - 3. F-RevoCRMで作成している範囲（参考）

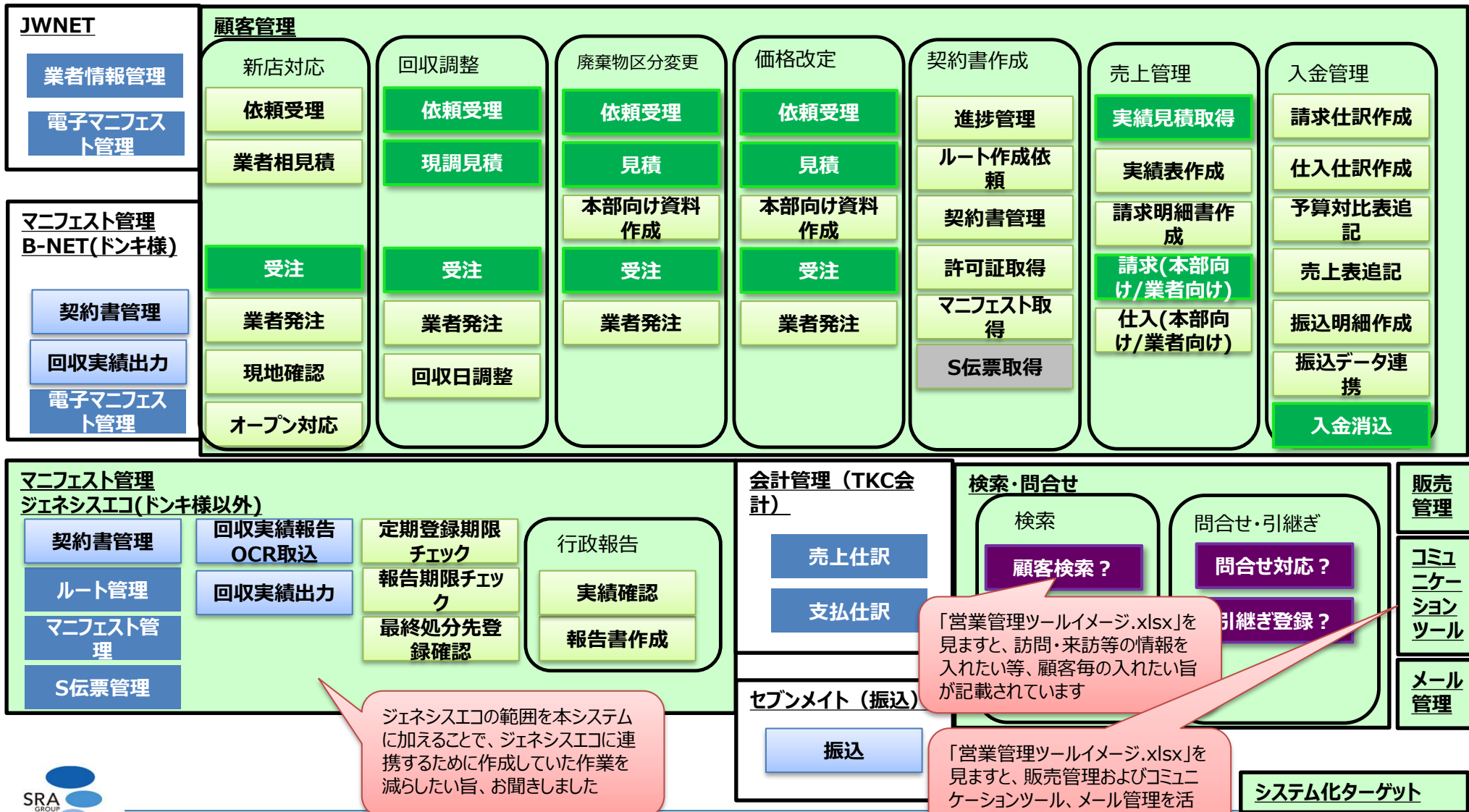
F-RevoCRMでシステム化に着手している範囲は以下「    」の認識です。

一斉案内



# 1 - 4 . 新システムの開発スコープについて

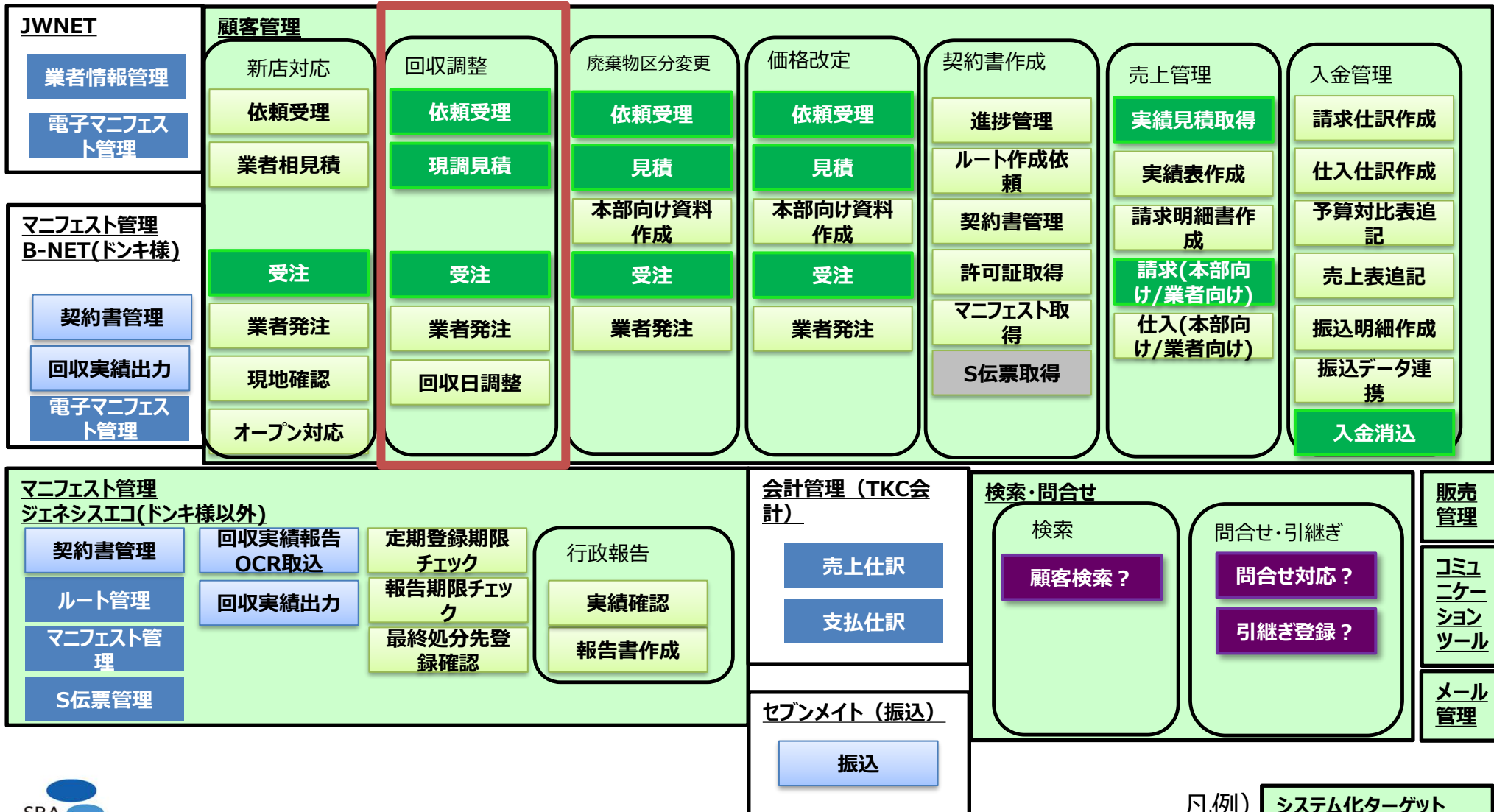
7/26の打合せにて、今後検討するシステム化の範囲は以下（ジェネシスエコの範囲も含む）とのことで伺いました。





# 1 - 5. 新システムの開発優先度について

そのうち、作成する優先順位が高いものは「回収調整」とのことでした。



凡例) システム化ターゲット



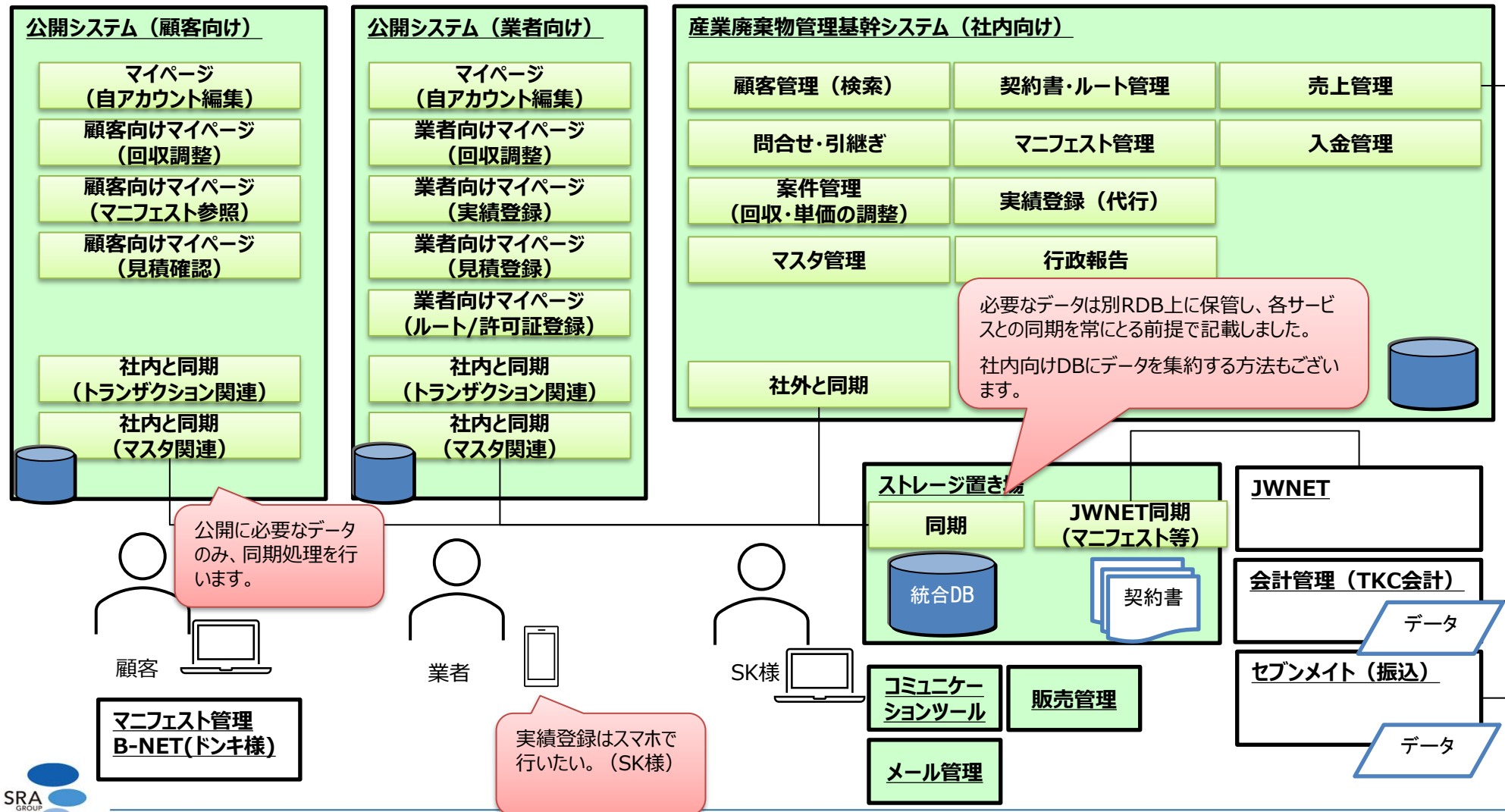
## 2. 理想像について

## 2－1．SK様作成理想像について

02.現行業務フロー\_99理想像.xlsx 参照

## 2-2. 理想の機能構成イメージ (案)

作成いただいた「02.現行業務フロー\_99理想像.xlsx」および「営業管理ツールイメージ.xlsx」を元に、理想とする機能構成イメージについて、以下に案を記載しました。不足している機能がございましたらご指摘をお願いいたします。



### 3. 検討事項について

## 3 – 1 . 検討課題事項について

- 理想像を実現するための「システム構築方法」および「サーバー構成」について検討が必要。（Fit & Gapを含む）
- 今回はジェネシスエコが担っていた機能を新システムで賄う必要がある。  
ジェネシスエコの機能および/運用フローをお聞きし、その中でシステム化が必須となる機能を開発スコープに含める必要がある。

## 3 – 1 – 1 . 新システムの構築方法の選定について

新システムの構築方法については、大きく以下の案が考えられます。

1. FrevoCRMをはじめとしたノーコードおよびローコードツールを用いて作成する。
2. スクラッチ開発にて作成する。

次ページより、それぞれを選択した際の一般的なメリットデメリットを記載します。

## 3 – 1 – 1 . 新システムの構築方法の選定について（ノーコードツールの長所短所）

### ノーコードツールを用いたシステム開発

#### メリット:

- 学習曲線が緩やか: コーディング知識が不要なので、非エンジニアも容易にアプリやシステムを構築できる。
- 迅速なプロトタイピング: アイディアを素早く形にし、市場へのテストやフィードバックを迅速に取得できる。
- コスト削減: 開発者を雇用する必要がないか、あるいは最小限にできる。
- 継続的な更新: 一部のプラットフォームは、セキュリティや機能面での自動更新を提供する。

#### デメリット:

- 柔軟性の欠如: 用意されたツールや機能の範囲内でしかカスタマイズできない。
- スケーラビリティの制約: 複雑な要件や大規模なトラフィックのサポートが難しい場合がある。
- 依存性: ノーコードプラットフォームの提供会社が変わる、サービスを終了するなどのリスクがある。
- 長期的なコスト: 初期のコストは低いですが、月額料金などの継続的な支払いが発生する場合がある。
- パフォーマンス: カスタマイズされたコードよりもパフォーマンスが劣る場合がある。



## 3 - 1 - 1 . 新システムの構築方法の選定について（スクラッチ開発の長所短所）

### スクラッチ開発

#### メリット:

- 高い柔軟性: 要件に合わせて完全にカスタマイズ可能。
- 最適化されたパフォーマンス: 必要に応じて最適化を行うことができる。
- 独自のUI/UX: ユーザーのニーズに完全に合わせたデザインが可能。
- 長期的な投資: ソフトウェアが企業の成長や変更に合わせてスケーラブルであることを保証。
- セキュリティ: 独自のセキュリティ対策やプロトコルを実装可能。

#### デメリット:

- 高いコスト: 開発には多くの時間とリソースが必要。
- 長い開発時間: ノーコードツールに比べて実装に時間がかかる。
- 高い学習曲線: 専門的なスキルや知識が必要。
- メンテナンスの必要性: 更新、セキュリティ対策、バグの修正など、継続的なメンテナンスが必要。
- 技術の選択: 開発に使用する技術スタックの選択によっては、将来的に技術が陳腐化するリスクがある。

## 3 - 1 - 2. ノーコードツールのご紹介

ノーコードツールの選定につきまして、弊社で構築した実績があり、おすすめするツールは以下になります。  
ただし、他のツールを選定されましても、精一杯ご期待に沿えるよう作成いたします。

- JUST.DB

参考URL <https://www.justsystems.com/jp/products/justdb/>

参考まで、JUST.DBの月額料金は以下となっております。

JustDBの場合の月額料金例

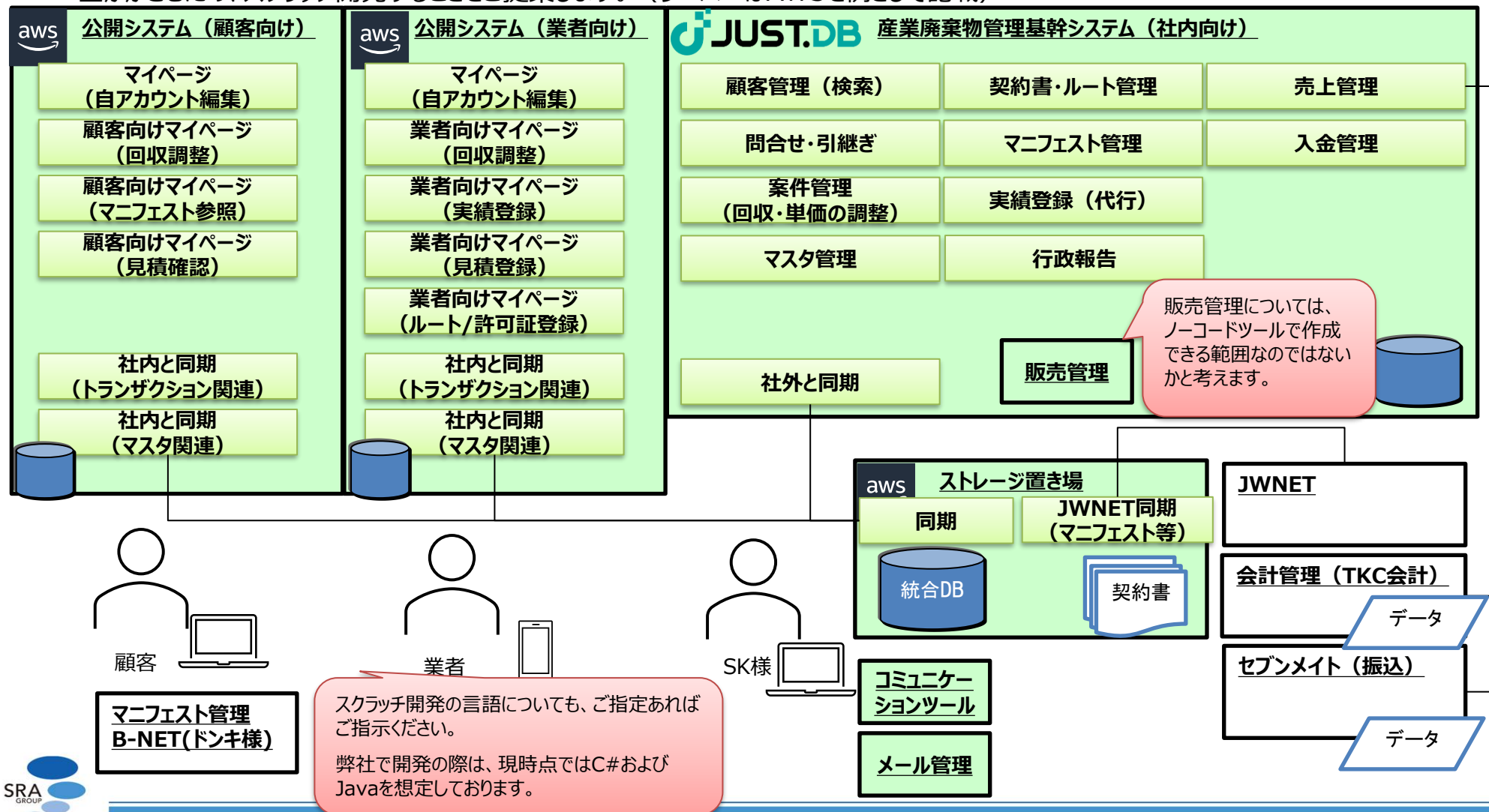
利用者料(15,000円 \* 同時ログインユーザー数) + オプション料金

### 3-1-3. システム構築方法およびサーバー構成のご提案

今回ご提案するシステム構築方法およびサーバー構成は、以下です。

開発納期を短くする意図から、社内向けシステムにはノーコードツールを使用することではいかがでしょうか？

社外向けシステムについては、顧客業者合わせ2000程度利用ユーザ数があることを想定しますと、ノーコードツールでは月額料金がかさむため、スクラッチ開発することをご提案します。（サーバーはAWSを例として記載）



## 3－1－4．画面のイメージについて

画面イメージ例

## 3－2．検討事項について（ジェネシスエコについて）

ジェネシスエコの利用有無により、ステークホルダにメリットデメリットが出てくると想定されます。  
特に業者目線で考えた際の登録の利便性について検討する必要があると考えます。  
以下は、仮（想像）で記載しています。

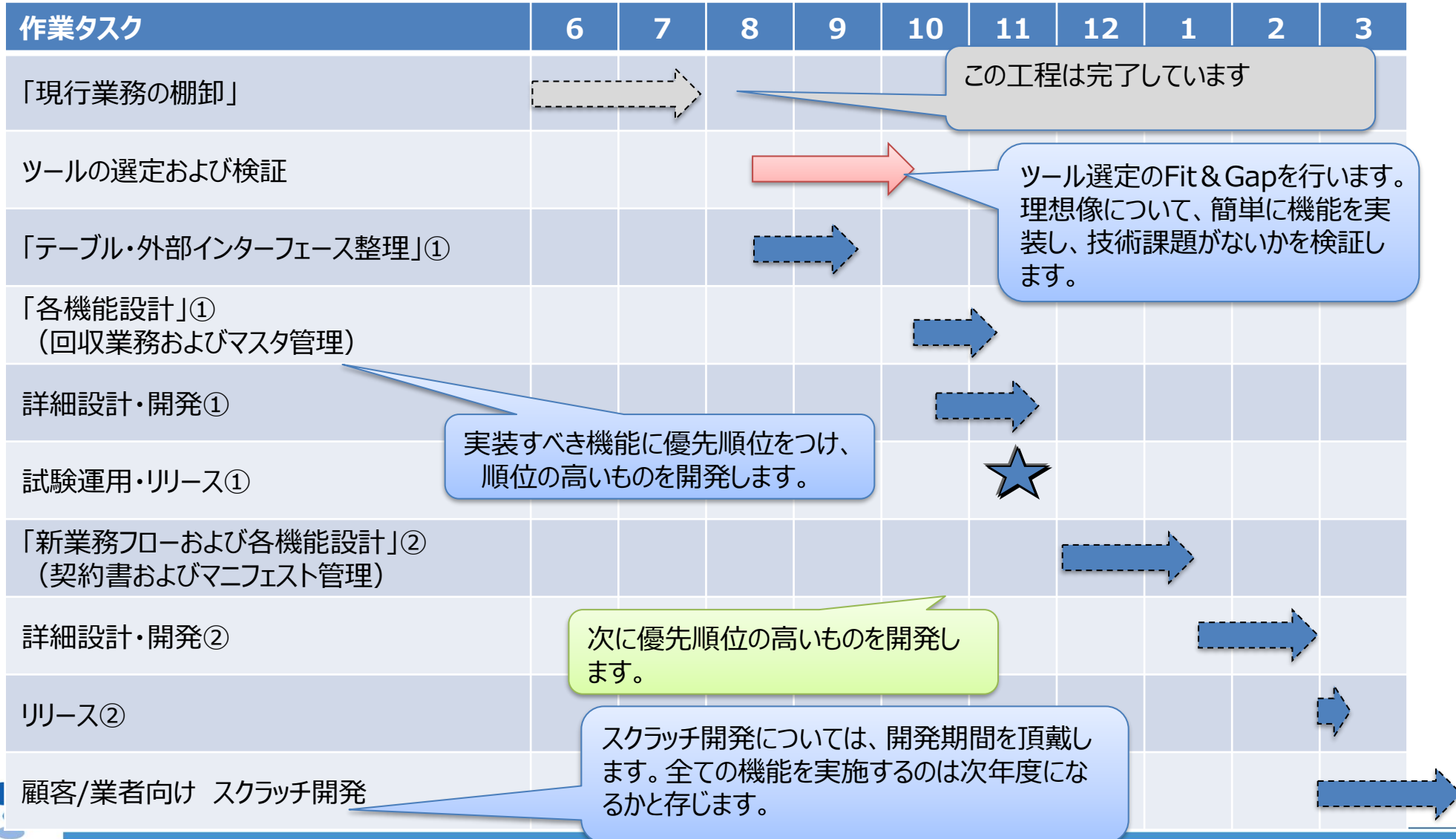
ジェネシスエコの利用	業者の利用目線	保守面	備考
利用する場合	<ul style="list-style-type: none"><li>・実績登録等、これまでと変わらず運用可能。</li><li>・FAX送信による実績登録についても対応できていた。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・マスター情報について、他システムとのAPI連携等の同期ができない。よって二重管理が必要。</li></ul>	
利用しない場合	<ul style="list-style-type: none"><li>・新たな仕組みに慣れる必要がある。</li><li>・FAX送信による実績登録を実装するためには、新たに人手が必要。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・上記デメリットがない</li></ul>	※ジェネシスエコで利用している機能についての調査が必要

## 4. 今後の流れについて

## 4 - 1. 今後のスケジュール案について

以下は、今後のスケジュールの案になります。

11月には、オートボックス様向けにはいくつか機能を作成したい旨を伺っておりますが、対象機能範囲等について検討が必要です。

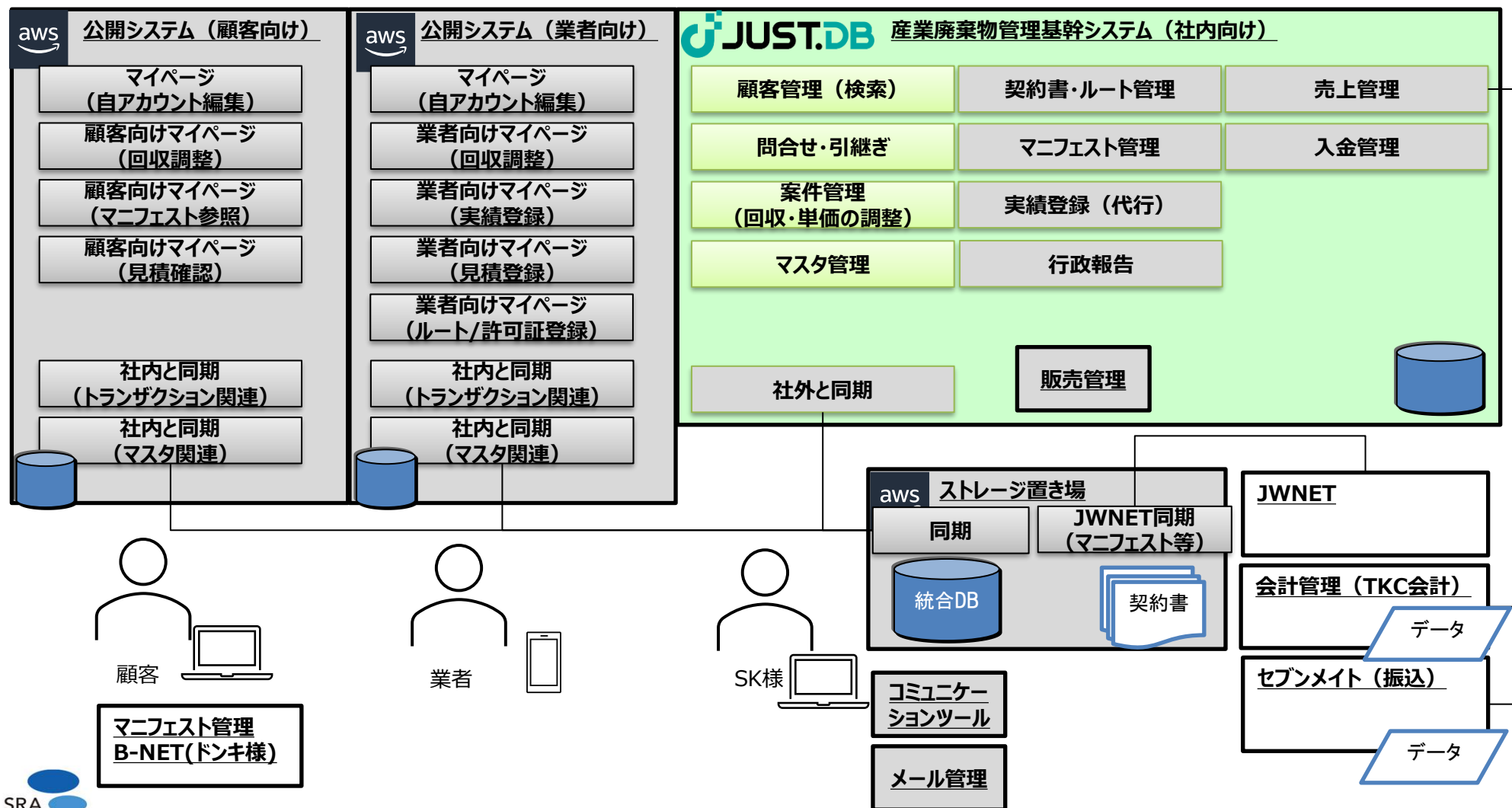




## 4-2. 1次開発のスコープについて

はじめに実装する機能の範囲としては以下ではいかがでしょうか？

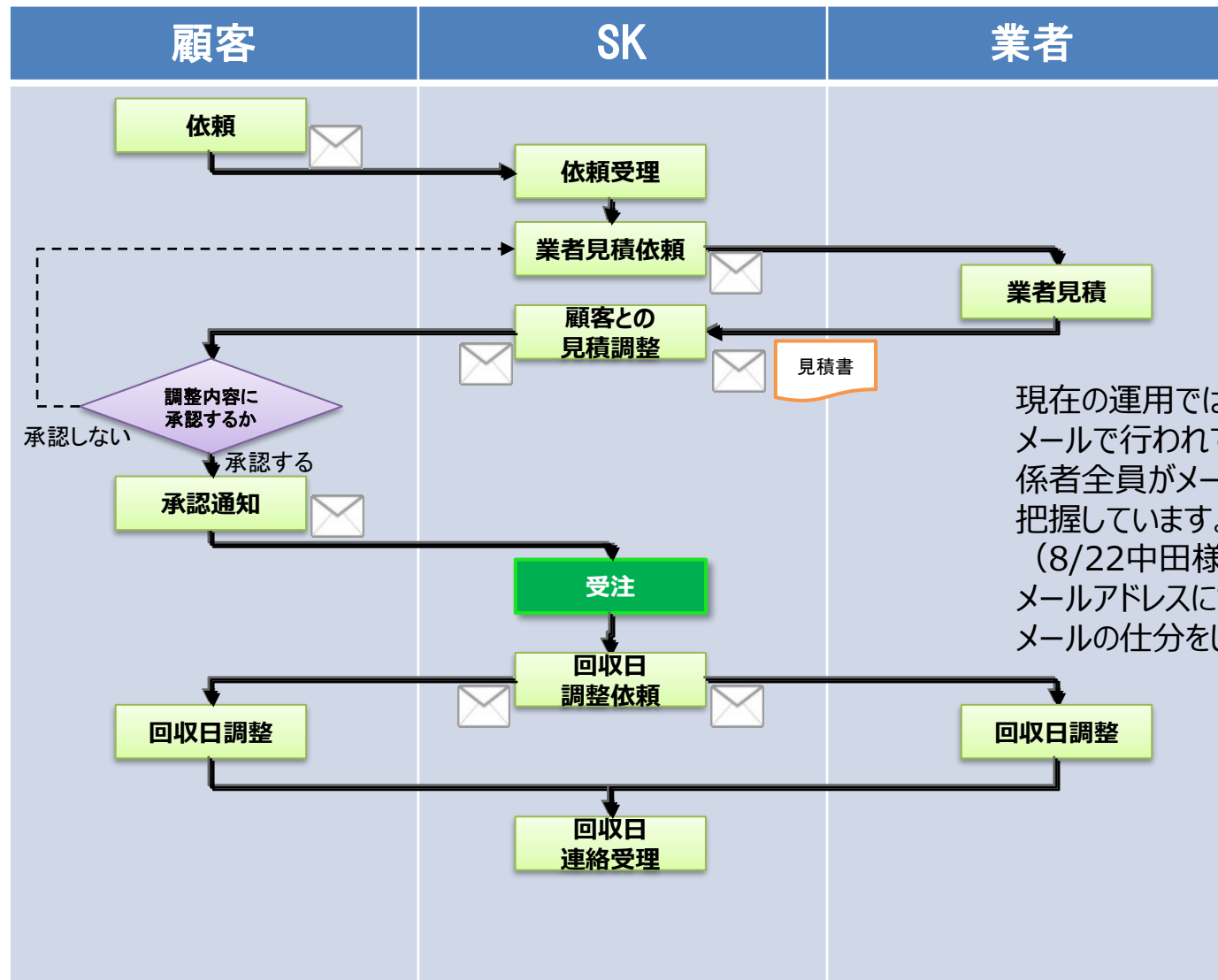
まずは、回収業務における“脱Excel”が主なターゲットになります。マスタの整理を行います。



## 5. 回収調整の新業務フロー案（参考）

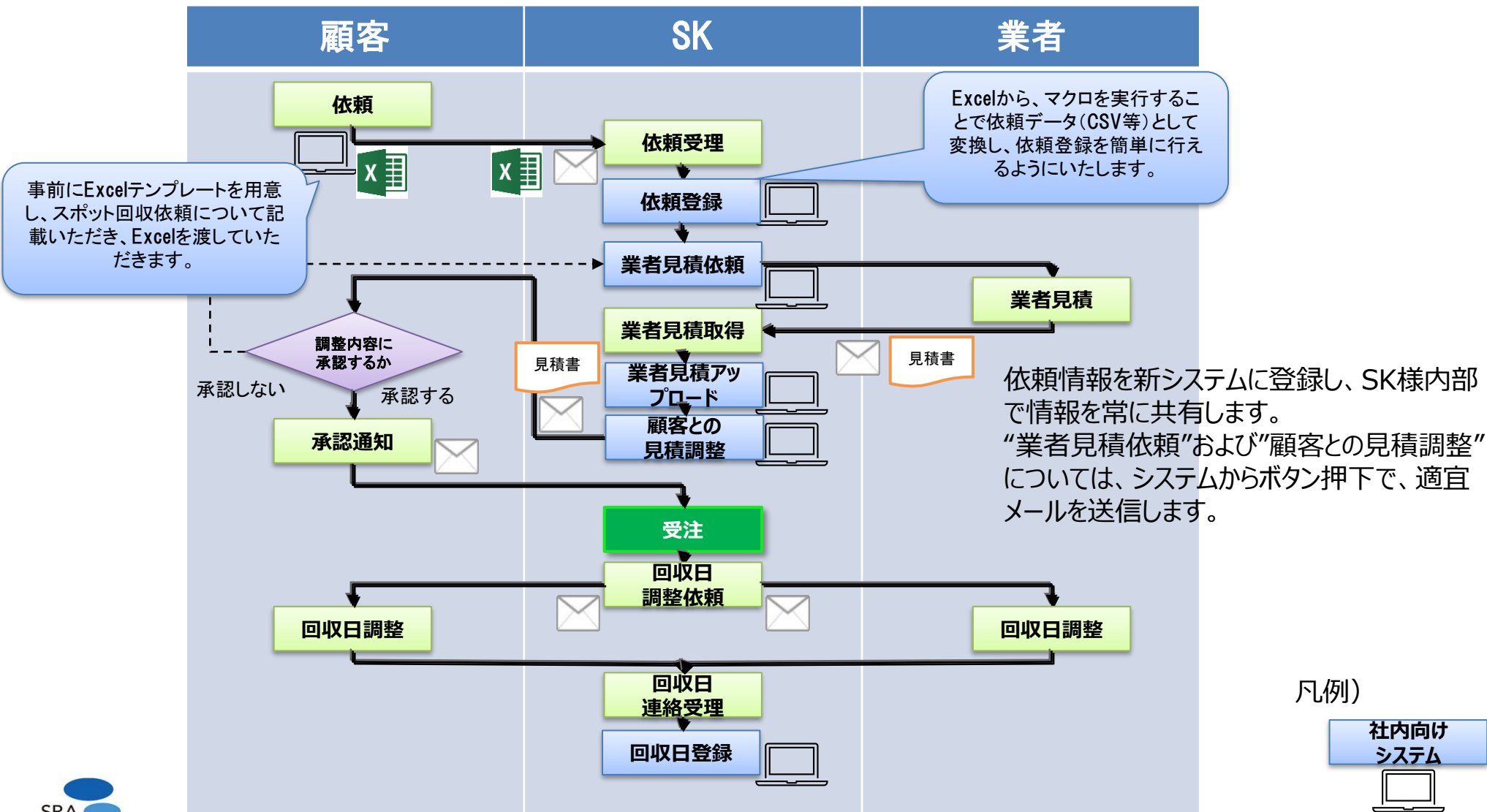
## 5-1. 回収調整の現行業務（参考）

以下は、回収調整の現行業務（一部抜粋）になります。



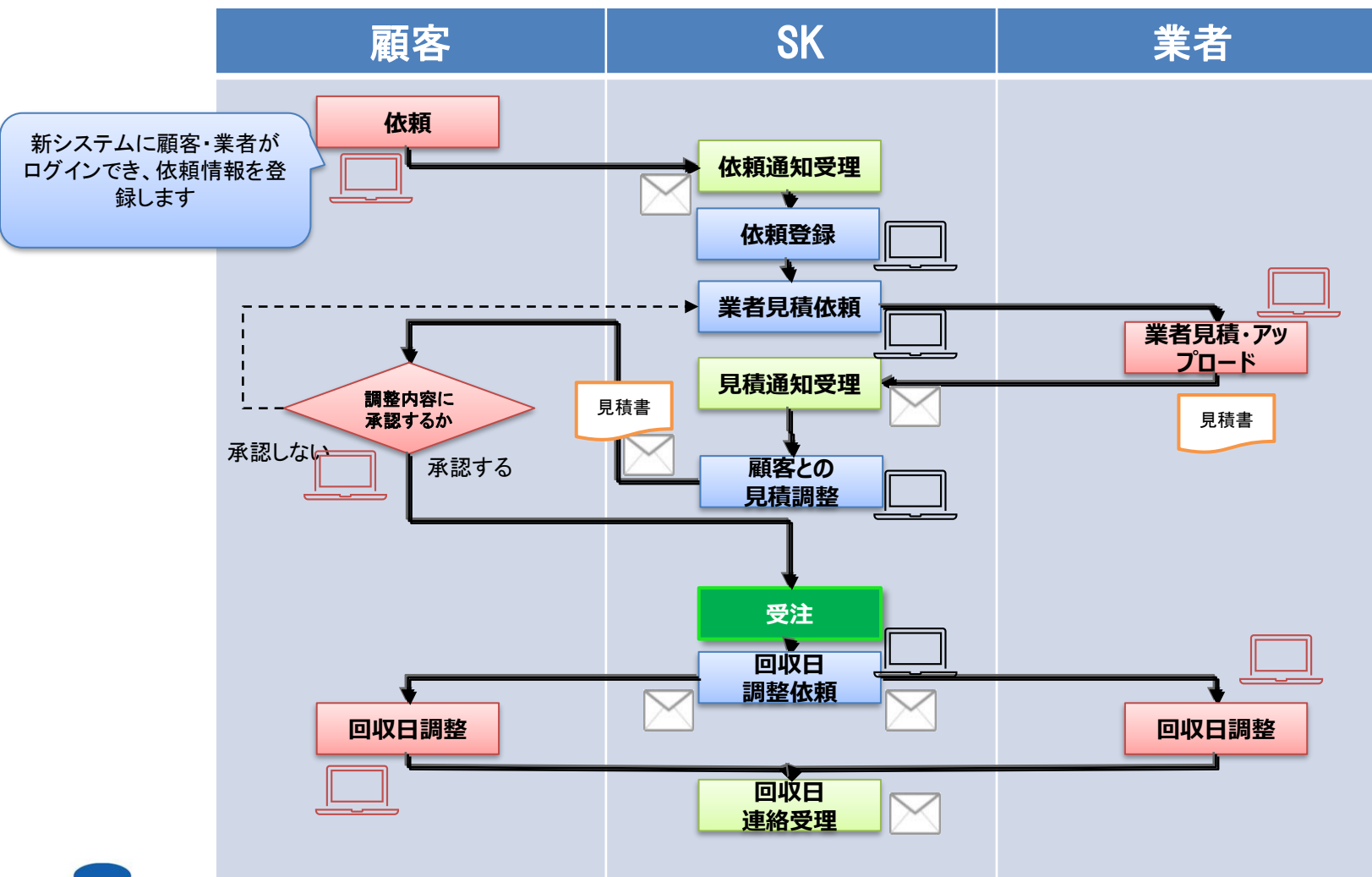
## 5-2. 回収調整の新業務フロー案（過渡期）（参考）

回収調整の新業務案を、以下に記載します。



## 5-3. 回収調整の新業務フロー案（理想像）（参考）

以下は、回収調整の新システムでの理想像になります。  
顧客・業者向けのシステムを新たに構築し、適宜操作いただきます。



凡例)

